



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 新日本理化株式会社 上場取引所 東
コード番号 4406 URL <https://www.nj-chem.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 三浦 芳樹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画管理本部長 (氏名) 埜下 太一 TEL 06-6202-6598
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	7,952	△6.9	1	△93.0	183	4.2	126	137.8
2023年3月期第1四半期	8,542	9.7	14	△93.7	176	△56.8	53	△83.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 512百万円 (334.8%) 2023年3月期第1四半期 117百万円 (△64.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	3.39	—
2023年3月期第1四半期	1.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	38,898	17,452	42.0	438.39
2023年3月期	38,553	16,954	41.2	425.54

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 16,344百万円 2023年3月期 15,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	11.8	500	—	900	754.3	600	—	16.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	37,286,906株	2023年3月期	37,286,906株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	3,342株	2023年3月期	3,120株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	37,283,679株	2023年3月期1Q	37,284,288株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国においてインフレと金利引き上げを背景とした景気の停滞感が見られたほか、ゼロコロナ政策終焉後の中国経済の回復ペースが鈍化したことから、景気後退は回避したものの、全体的に減速傾向にありました。一方、わが国経済においては、物価上昇などによる景気下押し要因はあったものの、賃金上昇を追い風とした個人消費とインバウンド消費の回復などを背景に、底堅い推移となりました。

当社グループを取り巻く環境においては、原材料である原油・油脂相場が比較的落ち着いて推移したことに加え、自動車産業が回復に転じたことなどの好要因があったものの、欧米、中国向けの輸出が低調に推移したため販売数量は伸長せず、厳しい事業運営を強いられました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、79億5千2百万円（前年同四半期比6.9%減）となり、損益面では、営業利益1百万円（前年同四半期比93.0%減）、経常利益1億8千3百万円（前年同四半期比4.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億2千6百万円（前年同四半期比137.8%増）となりました。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、収益改善に向け、販売シェアの回復に努めるほか、製造拠点の集約や製品ラインアップの見直しなどの合理化を進めてまいります。また、今年4月に実施した生産部門を中心とする組織変更により、QCDSE（品質・コスト・納期・安全・環境）管理の向上を図り、品質保証体制と社内サプライチェーン管理の強化に取り組んでおります。

また、当社グループは中期経営計画（2022年3月期～2026年3月期）に基づき、サステナビリティを核に事業構造の改革を推し進めております。バイオマス由来製品など環境価値の高い新規事業にリソースを重点配分し収益化を急ぐ一方、不採算事業については整理・立直しに向けた取組みを加速させてまいります。

主要製品の概況は次のとおりであります。

生活産業関連向け製品においては、トイレタリー向け界面活性剤原料がコロナ禍からの行動制限緩和により、数量、売上高ともに前年を上回ったほか、食品・医薬品向け添加剤が前年並みで推移しました。一方、繊維油剤原料向けアルコールは中国市場の停滞から数量、売上高ともに前年を下回りました。

床材や電線被覆材などの建材向け原料である可塑剤製品は、海外市況の下落により輸出が落ち込み、国内需要も低調に推移しましたが、原料調達難の解消により販売数量が回復した結果、売上高は前年並みとなりました。

自動車産業向け製品においては、自動車生産数の回復に伴い需要も回復基調にあり、数量、売上高ともに前年を上回りました。

電子材料向け製品においては、中国市場の回復が進まず同国への輸出が低迷したため、数量、売上高ともに前年を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前期末比0.9%増、金額で3億4千5百万円増加の388億9千8百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金が増加した影響などにより、前期末比0.1%増、金額で2千7百万円増加の190億1千5百万円となりました。固定資産につきましては、投資有価証券について時価が上昇したことなどにより、前期末比1.6%増、金額で3億1千7百万円増加の198億8千3百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が増加したことなどにより前期末比1.2%増、金額で1億4千5百万円増加の126億7千7百万円となりました。固定負債につきましては長期借入金が増加したことなどにより前期末比3.3%減、金額で2億9千7百万円減少の87億6千8百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金が増加したことなどにより前期末比2.9%増、金額で4億9千7百万円増加の174億5千2百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は42.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,956	2,826
受取手形及び売掛金	7,938	8,388
電子記録債権	1,306	1,339
商品及び製品	2,787	2,637
仕掛品	2,012	2,271
原材料及び貯蔵品	1,645	1,044
その他	344	508
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	18,987	19,015
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,281	4,281
その他(純額)	5,531	5,543
有形固定資産合計	9,813	9,825
無形固定資産		
	25	31
投資その他の資産		
投資有価証券	9,147	9,472
退職給付に係る資産	226	223
その他	353	331
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	9,726	10,026
固定資産合計	19,565	19,883
資産合計	38,553	38,898

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,374	5,889
短期借入金	2,696	2,421
1年内返済予定の長期借入金	2,021	1,943
未払法人税等	40	60
賞与引当金	309	148
その他	2,089	2,213
流動負債合計	12,532	12,677
固定負債		
長期借入金	5,443	5,107
役員退職慰労引当金	87	53
退職給付に係る負債	1,821	1,836
その他	1,713	1,771
固定負債合計	9,066	8,768
負債合計	21,598	21,445
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,075	4,075
利益剰余金	3,796	3,922
自己株式	△0	△0
株主資本合計	13,532	13,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,511	2,780
繰延ヘッジ損益	△3	1
為替換算調整勘定	△133	△58
退職給付に係る調整累計額	△40	△37
その他の包括利益累計額合計	2,333	2,686
非支配株主持分	1,088	1,108
純資産合計	16,954	17,452
負債純資産合計	38,553	38,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	8,542	7,952
売上原価	7,295	6,721
売上総利益	1,247	1,231
販売費及び一般管理費	1,233	1,230
営業利益	14	1
営業外収益		
受取配当金	81	89
持分法による投資利益	86	88
為替差益	—	1
その他	31	18
営業外収益合計	200	196
営業外費用		
支払利息	12	12
為替差損	19	—
その他	7	1
営業外費用合計	38	13
経常利益	176	183
特別損失		
投資有価証券評価損	23	—
減損損失	—	8
特別損失合計	23	8
税金等調整前四半期純利益	152	175
法人税、住民税及び事業税	41	65
法人税等調整額	38	△49
法人税等合計	79	15
四半期純利益	73	160
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	53	126

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	73	160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△74	269
繰延ヘッジ損益	—	4
為替換算調整勘定	6	14
退職給付に係る調整額	△2	3
持分法適用会社に対する持分相当額	114	60
その他の包括利益合計	44	352
四半期包括利益	117	512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97	478
非支配株主に係る四半期包括利益	19	33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。